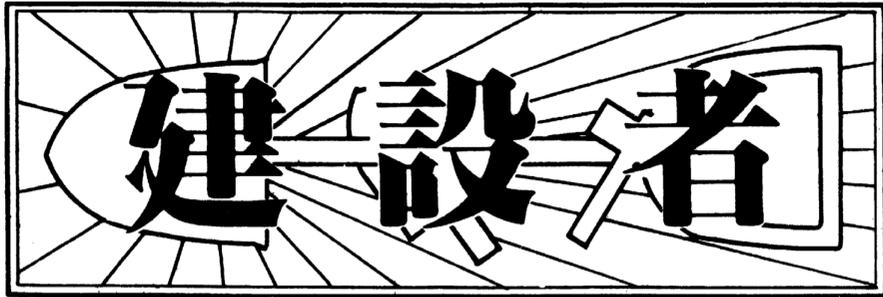


今月の葛飾組織現勢

2021年11月1日	4,418人
加 入	14人
転 入	1人
脱 退	58人
転 出	1人
2021年12月1日現在	4,374人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電 話 (5698) 1 2 6 1
 F A X (5698) 1 2 6 2
 発行人 関 根 伸 正

活動者会議&打上式

コロナ禍でできることを追求し、達成

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、8月に予定していた支部活動者会議は延期とし、宣言解除後の11月3日

(水・祝)に開催。会場はテコンプラザかつしかとして、参加者は本部来賓を含めて102人、支部の前半の取り組み



打上式の最後に土屋組織部長の音頭でガンバロウ三唱

及び後半の運動方針(基調報告)及び、10月から登録の始まったインボイスに対する学習会(講師:村本本部副主任書記)、その後休憩をはさんで、拡大打上式を行いました。コロナ以前であれば、飲食含めての取り組みとなるところでしたが、お昼の飲食抜きで終了としました。

【秋の拡大月間結果】

○月間到達:157人
 ○11月人員:4418人(1月比プラス28人)
 ○目標達成分会:10分会(奥



村本本部副主任書記

2022年 新春のしごい

2020年1月から新型コロナウイルスの感染拡大が広がりはじめ、2年が経ちました。日本では感染拡大も落ち着きを見せ、日常生活が戻りつつあります。私たちが取り巻く環境は他産業と比べても依然と厳しい状況が続いているのが現状でもあります。

大月間では困ったことは組合へ、コロナ禍でもできることからを言葉に取組み、葛飾支部の目標を連続達成することができました。

22年は、着実な実増をめざすとともに、仕事でも地元を根をはった力強く、頼りになる組合づくりをめざそうと

そんな中でも、春・秋の拡大

『2022年新春のしごい』

各3人

を左記の通り開催します。

記

日時:22年1月9日(日)

12時

会場:ホテルラングウッド

参加:分会5人

青年・主婦・建長会は

年末拡大

戸・青戸・中央・堀切・細田
 高砂・柴又・新金町・北水元
 ・幸田・水元

今現在は年末拡大に取り組んでいます。目標39人に対して、18人の加入状況です。1月1日付、16人減となっております。春・秋のように統一行動日は設けませんが、群会議などでの声掛けや、会話から加入対象者を見つけていきたいと思います。

組合員数が増えることは組織の力にもつながります。その力は、国保補助金獲得に対する大きな力にもつながり、アスベスト訴訟の最高裁勝訴判決にもつながりました。多くの仲間を迎え入れて、私たち建設業界の処遇改善に向けた組合要求運動の力にしていきたいと思います。

	2021年 1月1日付	2021年 12月1日付	秋月間(9・10月)		年末拡大(11・12月)		1月比 増減	
			目標数	成果数	目標数	成果		
た つ み	504	489		18	7	5	1	-15
奥 戸	393	413	☉	14	26	3	4	20
本田立石	326	327		11	3	4	2	1
青 戸	160	157	☉	6	6	1		-3
中 央	391	400	☉	14	17	3	2	9
堀 切	269	265	☉	9	10	2		-4
亀 有	389	374		14	5	3	2	-15
細田高砂	367	380	☉	13	14	4		13
柴 又	187	184	☉	7	9	1		-3
新金町	322	320	☉	11	12	4	1	-2
北水元	212	203	☉	8	10	2	1	-9
幸 田	277	287	☉	10	15	2	3	10
水 元	393	382	☉	14	15	3	1	-11
そ の 他	200	193	☉	7	8	2	1	-7
合 計	4390	4374	☉	156	157	39	18	-16

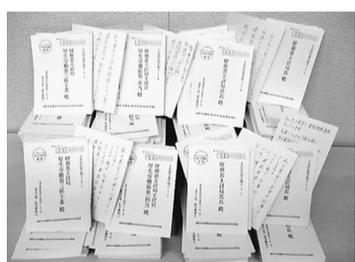
1月1日付人員比 マイナス16人

要請ハガキ行動 減額させない運動を

6月から始まった来年度の土建国保への補助金確保のための予算要求のハガキ要請行動。

6・7月に厚労省宛、8・9月に東京都宛、10・11月に財務省宛と合計6ヶ月にわたり皆さんの協力をいただきながら取り組んできました。新型コロナウイルスが感染拡大する前は、日比谷野音で夏・冬と2回の

35・9億円増。この要求額を通すために先月まで財務省宛ハガキ要請行動に取り組みました。11月まで要請ハガキは、6328枚です。この運動は、来年も取り組みますので、ご協力をお願いいたします。



集まった財務省宛ハガキ

寅さん

感染拡大が終息に向かっている。葛飾区の11月の感染者は11人(28日時点)。今年の8月の感染拡大のピーク時では8月の1カ月で4000人を超え感染者となった。様々な制限が緩和に向かっている。そこに来て、27日、新たな変異種オミクロン株の報道がされた。この年末年始にかけて非常に気がかりなニュースだ。これまでの経験から正しく恐れることを学んできた。推測だけで判断ではなく、個人がこれまで学んだ消毒・マスクなど適切な対応で感染拡大を防ぐことを期待したい。

感染者数は大幅に減少してきているのが現状であるが、生活を元に戻すにはまだまだ支援を必要としている人がいるのも現実でもある。11月27日に、東京土建を含む区内団体が合同で取り組んでいる生活支援プロジェクトを曳舟川親水公園(お花茶屋駅)で開催した。今回で4回目となった。開始時間を前にした行列はこの4回目が一番長く、150人程、300人近い支援を求める人が来場した。元の生活に戻るにはまだまだ時間がかかる。

そんな中、東京土建は来年(2022年)75周年を迎える。三四半世紀である。葛飾支部は2年後の設立のため、来年は73周年となる。様々な困難を乗り越えてきた歴史である。これからも未来に向かって力強く歩んでいきたい。

本部機関紙コンクール

奥戸・みずもとの2紙 特選入賞

毎年開催の本部機関紙コンクール。今年は、27支部から分会新聞・青年・シニア・主婦の各機関紙から167紙の応募がありました。10月22日の外部審査で決定する特選入選紙には19紙が選ばれ、その中で、葛飾から応募の『奥戸(奥戸分会)』8月号と『みずもと(水元分会)』10月号の2紙が選ばれました。おめでとうございます。

葛飾支部からは、『奥戸』『ほんでん(本田立石分会)』『青戸分会』『中央(中央分会)』『みずもと』『女性の会かつしか』の6紙を応募しました。

2月20日に本部で表彰式で特選紙に選ばれた2紙は表彰される予定です。葛飾支部では、13分会中5分会と女性の会が新聞を発行しています。未発行の分会は、発行できる体制を作れるよう新年度に向けて今から準備をしていきましょう。教宣部では、今年度8月に企画していた新聞作り学習会を新型コロナウイルス感染拡大を受け、中止としています。来年度に向けて改めて企画を進めていきますので、開催の際は、発行に向けて積極的な参加をお願いします。



特選入選紙に選ばれた『みずもと』(左)・『奥戸』(右)

住宅デー 2分会が開催

本田立石分会

本田立石分会による住宅デーが、11月28日(日) 渋江集い交流館前広場にて開催されました。当日は晴天にも恵まれ、来場者の皆様に安心・安全にお楽しみいただけるよう最大限の感染防止策を徹底した上で多くの方に来場頂きました。(組合員参加25人・来場者約30人)



本田立石分会会場 (包丁とき)

今回の住宅デーは、地元アパート自治会の要望により開催されたもので、地域の中で東京土建の存在が根付いてい

11月7日(日)奥戸天祖神社で包丁研ぎのみのミニ住宅デーを開催しました。今回の開催は、近所の方から「包丁が切れなくなって、今年は住宅デー出来ないよね?」と要望の声が多かったため開催に至りました。感染症対策はマスクと遮蔽シート、アルコールスプレーをしっかり用意しました。宣伝は町会掲示板と口コミでしたが、70人の来場で100丁の包丁を研ぎました。お手伝いに駆け付けた組合員の仲間は15名。「やっぱりみんなで集まるのは良いよね」との声もあり、コロ



奥戸分会会場

ることを認識することが出来ました。佐藤分会長は、「地域交流の一環として、皆さんの協力のもと無事開催することが出来た。地元市民と共に歩む組合として、しっかりと役割を果たしていきたい。」と述べていました。

奥戸分会

集団健診

149人が受診

今年度4回目となる支部集団健診を11月7日(日)にテックプラザかつしかで実施しました。受診者は149名となりました。緊急事態宣言は解除となっていました。サーモグラフィ設置や会場が密にならないよう人数制限や時間制を行いながら、細心の注意を払いながらの実施となりました。



集団健診

また、地域での健診取り組みでは、中央分会が下葉診療所で10月に、水元分会がセ

ナ禍でも様子をみながら可能な活動を検討していきます。

ツルメント診療所で11月に開催をしています。

動画配信中

インボイス 今から学習を

今年10月からインボイス制度(適格請求書等保存方式)の登録が開始となり、実施は、2023年10月の予定です。組合としては、建設業に大きな問題を引き起こす制度として、制度導入に反対しています。紙面では伝わりにくいこのインボイス制度を動画でも配信しています。私たちの仕事にとって将来どんなことが予想されるのか。しっかりと動画を見て今から学習していきましょう。



本部
YOUTUBE
動画

コロナ禍で困ったらご相談下さい

月次支援金/東京都中小企業者等月次支援給付金/国保減免制度・新型コロナウイルス感染症手当(土建国保加入者)申請期限が迫っている支援金もあります。支部事務所まで相談ください。

第38回 仲間の作品コンクール

今年の課題は「至福の時」
2021年12月10日 毎月支部業務日までに

今年度の作品コンクールは、今年度の課題「至福の時」をテーマに、各支部で作品を制作していただきました。今年度は、コロナ禍の影響で、制作が難しい中、多くの支部から作品が寄せられました。審査の結果、優秀作品が選ばれました。今年度の作品コンクールは、各支部で制作された作品を、本部で展示し、表彰しました。今年度の作品コンクールは、各支部で制作された作品を、本部で展示し、表彰しました。

主催/東京土建一般労働組合 厚生文化部

仲間の作品コンクールチラシ

今月末締切

応募しよう